平成27年１月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月８日

上 場 会 社 名	株式会社ストリーム	上場取引所	東証マザーズ
コ ー ド 番 号	3071	URL	http://www.stream-jp.com/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)劉　　海涛	
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理本部長	(氏名)土屋　敏	(TEL)(03)6858－8189
四半期報告書提出予定日	平成26年12月12日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無

四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成27年１月期第３四半期の連結業績（平成26年２月１日～平成26年10月31日）

（１）連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年１月期第３四半期	15,015	32.6	121	―	137	―	166	―
26年１月期第３四半期	11,327	△35.8	△187	―	△185	―	△163	―

(注)　包括利益　　27年１月期第３四半期　168百万円（　―%）　26年１月期第３四半期　△113百万円（　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
27年１月期第３四半期	6 92	6 89
26年１月期第３四半期	△8 24	― ―

（注）当社は、平成26年２月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割、平成26年８月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年１月期第３四半期	3,838	1,325	32.9
26年１月期	3,110	781	24.5

(参考)自己資本　　27年１月期第３四半期　1,261百万円　　26年１月期　761百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
26年１月期	― ―	0 00	― ―	0 00	0 00
27年１月期	― ―	0 00	― ―		
27年１月期(予想)				0 00	0 00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成27年１月期の連結業績予想（平成26年２月１日～平成27年１月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	20,646	23.7	379	―	372	―	286	―	12 19

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成26年２月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割、平成26年８月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行いました。平成27年１月期の連結業績予想における１株当たり当期純利益につきましては、当該分割を考慮した額を記載しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規　　１社（社名）株式会社エックスワン　、除外　　―社
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無
②　①以外の会計方針の変更　　：　無
③　会計上の見積りの変更　　：　無
④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年１月期３Ｑ	28,525,000株	26年１月期	24,950,000株
②　期末自己株式数	27年１月期３Ｑ	1,311,500株	26年１月期	1,476,500株
③　期中平均株式数（四半期累計）	27年１月期３Ｑ	24,068,427株	26年１月期３Ｑ	19,898,500株

(注)当社は、平成26年２月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割、平成26年８月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（平成26年２月～10月）におけるわが国経済は、政府による各種政策の効果により、企業の収益や雇用環境等の改善が見られ、穏やかな回復基調にありました。一方で消費税率引き上げによる個人消費の低迷や、円安進行による物価の上昇等もあり国内景気は依然として先行き不透明な状況で推移しております。

企業においても、円安からくる原材料のコスト上昇や、雇用環境が回復傾向にある中、一部の業種においては深刻な人手不足が起きる等、厳しい経営環境も続いております。

当社が属する家電小売業界におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による売上低迷は徐々に緩和しつつあるものの、台風や大雨等の天候不順の影響で例年に比べて猛暑日が少なかったことから、夏場の主力商品であるエアコンや白物家電の冷蔵庫・洗濯機等の需要の持ち直しに足踏みがみられました。

このような経営環境の中、大型家電量販店では店舗販売、インターネット販売等のいくつかの販路を組み合わせて、どのような販売チャネルからも同じように商品を購入できる環境「オムニチャネル」施策の強化に取り組み、売上の増加を図っております。

当社のインターネット通販事業につきましては、前期より効率的な販売促進を図るため、市場価格への迅速な対応や、仕入先とのデータ連携の強化による取扱アイテム数の増加（第２四半期末の取扱数は13,458アイテム、当第３四半期末の取扱数は15,618アイテム）、在庫の適正化施策の継続を推進した結果、主要商品群の売上動向につきましては前年同四半期比で、家電57.9%増、パソコン235.5%増、周辺機器・デジタルカメラ23.4%増と前年の実績を上回る水準で推移いたしました。

その結果、インターネット通販事業における売上高は13,849百万円（前年同四半期比39.2%増）、営業利益122百万円（前年同四半期は245百万円の営業損失）となりました。

インターネット通販事業の売上・来店客数推移

	売上高(百万円)	営業損益(百万円)	来客数(千人)	受注件数(千件)	会員数(千人)
当第３四半期連結累計期間	13,849	122	12,426	575	7,887
前第３四半期連結累計期間	9,948	△245	13,105	482	7,248

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

（百万円）

	家電	パソコン	周辺／デジカメ	その他	合計
当第３四半期連結累計期間	7,129	866	3,601	2,252	13,849
前第３四半期連結累計期間	4,515	258	2,917	2,256	9,948

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。
※会員数は顧客情報を登録頂いている顧客数の累計です。
※前連結会計年度（平成26年１月期）より、来客数は集計精度の向上を図るため集計方法を変更しております。

その他事業につきましては、平成26年２月３日に化粧品、健康食品を中心とした生活必需品の会員制無店舗販売を営む株式会社エックスワンの株式（発行済株式の80%）を取得し連結子会社といたしました。

同社の部門別の売上高は、パーソナルケア（化粧品）部門691百万円、ヘルスケア（健康食品）部門273百万円、その他部門164百万円となりました。また、会員からの年間更新料の収入80百万円（前年実績81百万円）が平成26年10月に計上されることから、当第３四半期連結会計期間の売上高は他の会計期間に比べて増加しております。

その結果、その他事業における売上高は1,211百万円、営業利益０百万円となりました。

なお、最近の展開としては、ダイエットサプリメントの新製品「ＸＥＬＥＳＡＮＴＥ（エックスエレサンテ）Ｘ50 ワンダースリム」の販売を平成26年11月に開始し、新たな会員獲得による売上増加策を推進しております。また、同年12月には最先端の再生医療技術を美容分野に応用した幹細胞コスメ「ＸＬＵＸＥＳ（エックスリュークス)」の販売を開始し、会員制販売だけでなく、さらなる会員数拡大を視野に、一般の消費者にもWEB通販するとともに、都内主要免税店において、急増する訪日外国人、特に中国からの観光客をターゲットに品揃えを展開しております。

財務面では、平成26年１月30日に発行いたしました第６回新株予約権に関して割当先であるLicheng(H.K.)Technology Holdings Limitedにより、同年９月18日に全部行使が行われ、資本金及び資本準備金がそれぞれ154百万円増加しております。これにより、更なる財務基盤の強化を図り、当社の主力事業である「インターネット通販事業」、連結子会社であるエックスワンによる「化粧品・健康食品販売事業」及び「ネット通販支援事業」並びに「オンラインゲーム事業」等、事業の多角化を推進し、企業価値の向上を図ってまいります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は15,015百万円（前年同四半期比32.6％増)、営業利益121百万円（前年同四半期は187百万円の営業損失)、経常利益137百万円（前年同四半期は185百万円の経常損失）となりました。また、負ののれん発生益65百万円を特別利益に計上するとともに、特別損失として情報セキュリティ対策費20百万円及び株式会社エックスワンの事務所移転費用20百万円を計上したことにより、四半期純利益166百万円（前年同四半期は163百万円の四半期純損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

第１四半期連結会計期間において、株式会社エックスワンの連結子会社化の影響等に伴い、資産及び負債が増加しております。

（資産の部）

当第３四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ728百万円増加し、3,838百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金278百万円増加、商品358百万円増加、ソフトウエア61百万円増加によるものであります。

（負債の部）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ184百万円増加し、2,513百万円となりました。これは主に、長期借入金（１年内返済予定の長期借入金を含む）402百万円増加、預り金の増加等による流動負債「その他」128百万円増加、短期借入金350百万円減少によるものであります。

（純資産の部）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ543百万円増加し、1,325百万円となりました。これは主に、新株予約権の行使に伴う資本金154百万円及び資本準備金154百万円増加、少数株主持分57百万円増加、四半期純利益166百万円の計上によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ257百万円減少し、222百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、336百万円（前年同四半期は378百万円増加）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益156百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額230百万円、たな卸資産の増加額190百万円、非資金項目である負ののれん発生益65百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、282百万円（前年同四半期は82百万円増加）となりました。収入の主な内訳は、差入保証金の回収による収入109百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出54百万円、無形固定資産の取得による支出216百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出41百万円、差入保証金の差入による支出17百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において財務活動の結果増加した資金は、361百万円（前年同四半期は430百万円使用）となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入500百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入298百万円であり、支出の主な内訳は、短期借入金の純減額350百万円、長期借入金の返済による支出97百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での通期業績予想は、平成26年３月12日付で開示いたしました業績予想から変更ありません。

なお、今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成26年２月３日に株式会社エックスワンの発行済株式の80%を取得したことに伴い、第１四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

なお、株式会社エックスワンは当社の特定子会社に該当します。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年１月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	479,520	222,417
受取手形及び売掛金	627,604	906,392
商品	1,138,217	1,496,275
その他	100,623	267,415
流動資産合計	2,345,965	2,892,499
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	993	20,724
車両運搬具（純額）	3,869	7,354
工具、器具及び備品（純額）	43,281	64,616
建設仮勘定	－	8,195
有形固定資産合計	48,144	100,891
無形固定資産		
ソフトウエア	314,816	375,881
その他	17,771	98,338
無形固定資産合計	332,587	474,220
投資その他の資産		
投資有価証券	13,042	13,877
出資金	150	150
差入保証金	300,817	280,363
その他	69,388	76,399
投資その他の資産合計	383,398	370,790
固定資産合計	764,130	945,902
資産合計	3,110,096	3,838,401

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年１月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年10月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,245,784	1,216,355
短期借入金	630,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	67,700	220,000
未払金	160,027	204,200
未払法人税等	4,580	8,054
賞与引当金	1,000	14,363
ポイント引当金	273	17,666
その他	57,155	185,520
流動負債合計	2,166,522	2,146,160
固定負債		
長期借入金	－	250,000
繰延税金負債	5,003	9,345
その他	157,230	107,563
固定負債合計	162,233	366,909
負債合計	2,328,755	2,513,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	769,775	924,429
資本剰余金	709,775	867,281
利益剰余金	△538,186	△371,688
自己株式	△182,230	△161,866
株主資本合計	759,132	1,258,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,661	3,223
その他の包括利益累計額合計	2,661	3,223
新株予約権	16,388	3,632
少数株主持分	3,157	60,318
純資産合計	781,340	1,325,331
負債純資産合計	3,110,096	3,838,401

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年10月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年２月１日 至 平成26年10月31日）
売上高	11,327,191	15,015,034
売上原価	9,935,325	12,252,883
売上総利益	1,391,865	2,762,151
販売費及び一般管理費	1,579,469	2,640,396
営業利益又は営業損失（△）	△187,603	121,754
営業外収益		
受取利息	195	97
受取配当金	19,507	71
為替差益	10,433	3,467
預り金整理益	－	4,420
償却債権取立益	－	12,807
その他	1,265	5,615
営業外収益合計	31,402	26,479
営業外費用		
支払利息	16,782	9,167
租税公課	12,828	－
その他	－	1,930
営業外費用合計	29,610	11,097
経常利益又は経常損失（△）	△185,812	137,137
特別利益		
固定資産売却益	492	－
出資金売却益	118,882	－
負ののれん発生益	－	65,224
特別利益合計	119,374	65,224
特別損失		
固定資産売却損	－	48
投資有価証券評価損	21,474	－
減損損失	1,775	5,164
解約違約金	29,442	－
過年度関税	47,192	－
情報セキュリティ対策費	－	20,978
事務所移転費用	－	20,042
特別損失合計	99,884	46,234
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△166,322	156,127
法人税等	122	△11,966
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△166,444	168,093
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△2,546	1,595
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△163,898	166,498

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年10月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年２月１日 至 平成26年10月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△166,444	168,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,137	561
為替換算調整勘定	14,628	－
その他の包括利益合計	52,765	561
四半期包括利益	△113,679	168,655
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△111,132	167,060
少数株主に係る四半期包括利益	△2,546	1,595

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年10月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年２月１日 至 平成26年10月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△166,322	156,127
減価償却費	125,767	140,254
減損損失	1,775	5,164
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△23,591	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	52	11,416
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△1,928	17,392
受取利息及び受取配当金	△19,702	△168
支払利息	16,782	9,167
為替差損益（△は益）	4,339	－
固定資産除売却損益（△は益）	△492	48
負ののれん発生益	－	△65,224
出資金売却益	△118,882	－
投資有価証券評価損益（△は益）	21,474	－
解約違約金	29,442	－
売上債権の増減額（△は増加）	△246,963	△230,402
たな卸資産の増減額（△は増加）	△234,715	△190,919
仕入債務の増減額（△は減少）	798,518	△35,493
長期未収入金の増減額(△は増加)	235,211	－
その他	△41,226	△131,349
小計	379,540	△313,986
利息及び配当金の受取額	19,702	168
利息の支払額	△16,767	△9,162
法人税等の支払額	△4,195	△13,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	378,279	△336,330
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,456	△54,742
有形固定資産の売却による収入	725	740
無形固定資産の取得による支出	△66,932	△216,967
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△41,993
出資金の売却による収入	152,709	－
差入保証金の差入による支出	△643	△17,054
差入保証金の回収による収入	－	109,807
その他	△2,352	△62,424
投資活動によるキャッシュ・フロー	82,048	△282,633
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△282,918	△350,000
長期借入れによる収入	－	500,000
長期借入金の返済による支出	△139,200	△97,700
新株予約権の行使による株式の発行による収入	－	298,789
自己株式の処分による収入	－	19,470
配当金の支払額	△160	△69
その他	△8,408	△8,629
財務活動によるキャッシュ・フロー	△430,687	361,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51,861	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△22,220	△257,103
現金及び現金同等物の期首残高	205,918	479,520
現金及び現金同等物の四半期末残高	183,697	222,417

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成25年２月１日　至　平成25年10月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,948,118	1,379,072	11,327,191	―	11,327,191
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	9,948,118	1,379,072	11,327,191	―	11,327,191
セグメント利益又は損失（△）	△245,550	57,946	△187,603	―	△187,603

（注）１．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

２．その他事業は、中国における塗料、太陽電池関係部材等の販売、食品添加物等の販売事業であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失はありません。また、のれん等に関する情報について該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成26年２月１日　至　平成26年10月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,803,764	1,211,270	15,015,034	―	15,015,034
セグメント間の内部売上高又は振替高	45,379	―	45,379	△45,379	―
計	13,849,143	1,211,270	15,060,413	△45,379	15,015,034
セグメント利益又は損失（△）	122,839	713	123,553	△1,799	121,754

（注）１．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．その他事業は、会員制無店舗販売事業であります。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

第１四半期連結会計期間において、新たに株式を取得した株式会社エックスワンを連結の範囲に含めております。これにより前連結会計年度の末日に比べ、当第３四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額はその他事業において666,025千円増加しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

その他事業において、事務所の移転に伴い、今後使用見込みのない資産全額を減損処理したことにより、5,164千円を減損損失として特別損失に計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

その他事業において、第１四半期連結累計期間に株式会社エックスワンの発行株式の80％を取得したことにより連結子会社となりました。

この結果、61,878千円の負ののれん発生益を計上しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ154,654千円増加しております。また、ストックオプションの行使に伴う自己株式の処分により、その他資本剰余金が2,852千円増加し、自己株式が20,364千円減少しております。この結果、当第３四半期連結会計期間において資本金が924,429千円、資本剰余金が867,281千円、自己株式が△161,866千円となっております。

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	769,775	709,775	△538,186	△182,230	759,132
当第３四半期連結累計期間の変動額					
新株の発行	154,654	154,654			309,309
四半期純利益			166,498		166,498
自己株式の処分		2,852		20,364	23,216
当第３四半期連結累計期間の変動額の合計	154,654	157,506	166,498	20,364	499,023
当第３四半期連結累計期間末残高	924,429	867,281	△371,688	△161,866	1,258,156